



旭川市立東光中学校  
令和7年度  
学校だより④  
11月13日 発行

〒078-8348 旭川市東光8条2丁目 Tel:0166-32-1295 Fax 0166-32-1296

## 『ウェルビーイングの向上をめざして』

校長 高島 伸彦

ウェルビーイングとは、一人一人が幸せや生きがいを感じ、地域や社会が幸せや豊かさを感じられることを指す概念で、国際的にも経済的な豊かさばかりでなく、精神的な豊かさを含めた幸福や生きがいを捉える考え方が重視されています。

東光中学校におきましても子供たちが自分らしさを発揮し、積極的に活動に参加することができる居心地の良い学校を目指しています。

この実現のためには「心理的安全性」の確保が基盤となります。「心理的安全性」とは、生徒たちが安心して意見を述べたり、質問したり、間違いを恐れずに挑戦できる環境のことを指します。具体的には、次のような要素が含まれます。

- ・ 否定されない雰囲気：率直な意見や質問をしても否定されたり、笑われたりしない安心感。
- ・ 尊重と信頼：教職員やクラスメートから尊重され、信頼されていると感じること。
- ・ 失敗を受け入れる文化：間違いを学びの一部と捉え、挑戦を促す環境。
- ・ 自己表現の自由：他者に配慮しながら、自分の考えを自由に表現できること。

このような環境が整っていると、生徒は積極的に学びに取り組みやすくなり、自己肯定感や協調性が高まります。

これを踏まえ、本校の教職員は、必要に応じて毅然とした指導をすることもあります。生徒同士が互いに尊重し合う雰囲気をつくることに努め、生徒たちが自己有用感や自己効力感を高め、自らの可能性を信じて積極的に行動できるよう支援しています。

次に「自己有用感」の醸成に関しては、生徒たちが自分の価値を実感できるよう、日々の授業や特別活動等を通じて、友人やクラスメート、地域社会に積極的に関わり、他者に寄与する経験を積むことにより、達成感や役割意識を育む工夫をしています。

具体的には、係活動や生徒会活動、学校行事、地域ボランティアなどへの参加を通じて、一人一人の実績を称賛し、自分が学校や社会の一員として貢献できる喜びを感じてもらいたいと考えています。

さらに、「自己効力感」とは、「やればできる」と自らの可能性を信じる心であり、逆境を乗り越える力にもつながります。この感覚が育まれることで、困難に直面した際も諦めずに挑戦し続ける姿勢が養われます。

実際の学校評価の一環として実施した生徒アンケートでは、「学校が楽しい」と感じている生徒が95%に達しました。これにより、生徒たちが安心して学び、友人や教職員と良好な関係を築きながら、学校生活に臨んでいる生徒たちの様子がうかがえます。

教職員はこれらの理念をもとに、課題の解決に対しても試行錯誤しながら、日々の教育活動に真摯に取り組んでいます。今後も、生徒一人一人の個性や可能性を尊重し、安心して学び続けられる環境の整備に努めてまいります。

また、ご家庭や地域の皆さまとの連携を一層深めながら、お子さまの健やかな成長を支援していく所存です。つきましては、ご家庭におかれましても温かい叱咤激励のほど、よろしくお願い申し上げます。

## 1年校外学習「旭川再発見」

10/2（木）、1年生の25グループがそれぞれ自分たちのテーマを決めて、次の6つのコースに分かれ、事業所や公共施設を見学・調査しました。

- A 観光・工業・産業（旭山動物園、ラーメン店、上野ファーム、北彩都ガーデン、高砂酒造など）
- B アイヌ文化（川村力子トアイヌ記念館、旭川博物館など）
- C 食（旭川ラーメン店、旭川のお菓子店、キッコー日本醤油など）
- D 芸術・文学（旭川美術館など）
- E 歴史（買物公園、北鎮記念館、旭川博物館など）
- F 自然（常磐公園、旭山公園、北彩都ガーデン、旭川市外国樹種見本林、神楽岡公園など）



▲ラーメン店にて



▲高砂酒造にて

そして、旭川の魅力やこれからのまちづくりの課題などについて、グループごとに設定した調査テーマのもと、一生懸命に探究していました。現在、生徒たちは学んだことをレポートにまとめ、廊下に掲示しています。

## 2年「職業体験学習」

10/3（金）、2年生を対象に、「社会人としての必要な礼儀作法を身につける機会とする」「自らの将来に向けての夢や希望を広げ、その実現に向けての具体的な方策を考えていくきっかけとする」「地域や社会の人々と触れ合うことで、職業や生き方を学ぶ」といった目的のもと、次の5つの専門学校で職業体験を実施しました。

- ・旭川情報ビジネス専門学校
- ・旭川医療秘書専門学校
- ・旭川歯科学院専門学校
- ・北海道医学技術専門学校
- ・北都保健福祉専門学校



生徒達は、総合的な学習の時間において、体験に臨むための心構えやマナーを学び、自分が体験する職業について調査しました。また、目的地への路線バス等を使った移動や専門学校での行動計画を立てるなど、事前準備をしました。計画立案にあたっては、1学期の宿泊研修の自主研修で習得したプランニングのスキルがしっかりと活かされていました。

当日、生徒たちは、専門的な設備を見たり、講話を聞いたりして、職業に対する理解を深め、職業の疑似体験をして、目的を達成できました。

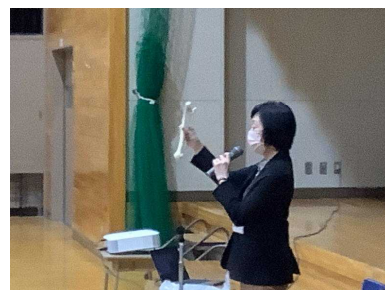
## 小中音楽発表会「3年3組」

10/10（金）、東光祭の合唱コンクールで「最優秀賞」を獲得した3年3組の生徒たちが、旭川市民文化会館で開催された小中音楽発表会に出場しました。東光祭終了後も、毎日熱心に練習を重ね、楽曲「虹」を堂々と歌い上げました。各パートのバランスも良く、美しいハーモニーでテンポや強弱の表現も巧みに工夫していました。特にクライマックスの部分では見事な盛り上がりを表現し、聴衆を引き込みました。



## meiji 食育セミナー 出前講座

10/22日（水）、「考えよう！ 成長期の体づくり」と題して、成長期における「運動」「食事」「睡眠」の役割を理解し、今後の食生活に生かすことをねらいとして、「meiji」による食育セミナーを実施しました。成長期の生徒に欠かせない「運動」「食事」「睡眠」の3つの習慣の役割と、体作りに必要な栄養をバランスよく摂るための食事方法について、具体的に学びました。



## 1年 人権教室「リスペクトアザース」

10/23（木）、人権擁護委員の方をお招きして人権教室を開催しました。

鑑賞した映像は、「主人公は親の仕事の関係で10歳までアメリカで育った。現地の学校には、肌の色も髪の毛の色も違ういろいろな人種の人々がいた。アメリカではトラブルがあると『Respect others（リスペクトアザース）』と言う。リスペクトアザースとは“他の人のことを尊重しなさい”という意味で、アメリカでは“人に意地悪をしてはダメ”というよりも、人との関わりにおける心構えを問題にする。」という内容でした。この映像は、実在する少年の体験に基づいたドラマです。生徒は、相手を尊重して認め合うことの大切さを学びました。



## 日本管楽合奏コンテスト出場

吹奏楽部が「日本管楽合奏コンテスト」中学生B部門（35人以上）の予選を突破し、10/25（土）に「文京シビックホール」（東京都）で開催された全国大会に出場しました。北海道吹奏楽コンクールでも感動を呼んだ「大いなる約束の大地～チンギス・ハーン」を演奏。優秀賞を受賞するとともに、演奏内容が特に評価され、プレーン賞（特別賞）を併せて受賞しました。

顧問の話によると、当日は、今までの演奏を凌駕する、一段と磨きのかかったのびやかで情感豊かな表現を会場全体に響かせることができたそうです。部員一人ひとりが、最高の舞台上真に「音楽を楽しむ」姿を見せてくれたことが、この栄誉に繋がったと確信しております。

この度は、多くの皆さまに応援いただきましたことに深く感謝申し上げます。今後とも、部員一同さらなる高みを目指し精進してまいりますので、引き続きのご支援を賜りますようお願い申し上げます。



▲演奏後、ロビーにて撮影